



## 22000-XNCF-KOSO CIVIC TYPE R COPPER FIBER CLUTCH SYSTEM

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

※本書の内容は予告なく変更する場合があります、予めご了承下さい。

#### ⚠ 使用上のご注意

- ・本製品の取り付けにはトランスミッションの脱着作業が伴います。交換は必ずホンダディーラーおよび認証工場で行って下さい。交換に伴う不具合により生じた事故等につきましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ※本書の内容は自動車整備士および整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験がない方のみでの組付け作業はケガや事故または走行中の車両トラブル等を招くおそれが有り、大変危険ですので絶対に行わないで下さい。
- ・作業前に本書をよくお読み頂き、部品番号および適合車種と、内容部品の状態を確認して下さい。万が一問題が発生した場合は取付けを行わず、当社にご連絡下さい。
- ・取付けを行う際は関連部品を点検し、異常があれば交換または修理を行った後、サービスマニュアルに従って作業して下さい。
- ・本製品を取付けた後にクラッチペダル位置(切れ点および繋がり点)が変化する場合があります。取り付け後はサービスマニュアルに従ってペダル調整を行って下さい。
- ・本製品の加工・誤使用による不具合、事故等について当社は一切責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・クラッチディスクは消耗部品です。限度を超えたクラッチディスクを使用しての走行は危険ですので絶対に止めて下さい。定期的に点検し、使用限度より早めに交換をこころがけてください。  
(本製品の使用限度：摩擦材厚み 片側1.5mmまで)
- ・装着後はクラッチディスク、カバーおよびレリーズベアリング、その他関連部品の磨耗や異常がないか定期的に点検して下さい。万が一異常が認められた場合は、直ちに修理または交換を行って下さい。
- ・本製品を取り付けた後は必ず慣らし走行を行って下さい。慣らし走行を行わずにサーキット走行や過酷な使用を行うと、すべりや部分的な焼き付きが生じ、ジャダーや寿命低下につながります。
- ・変速操作以外にクラッチペダルに足を載せたままでの走行は行わないで下さい。クラッチディスク、カバーおよびレリーズベアリングの寿命低下につながります。
- ・使用状況によっては発進時に若干の鳴きやジャダーが出ますが特に異常ではありません。
- ・走行中に不具合(異音、振動、異臭、切れ不良)が発生した時は、直ちに走行を中止しホンダディーラーおよび認証工場にて点検を受けて下さい。

## 本製品の特性

- ストリート～スポーツ走行における扱い易さと伝達性能を両立したクラッチシステム。
- クラッチディスクはSTDに対し、21%低イナーシャ化し、クッションングプレートを廃した事でシフトチェンジ時のクラッチ操作に対するレスポンス・シフトフィールを向上。また、銅と樹脂を配合した新素材をフェーシングに用いる事でダイレクトな操作感と耐フェード・フェードリカバリー性能を両立。
- クラッチカバーは圧着力を10800Nmと高める事で許容トルクを増大。

## ⚠ 作業上のご注意

1. 開封後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の車種、型式の確認を行って下さい。  
[適合車種] CIVIC TYPE R DBA/6BA-FK8  
※本製品は車種ごとにテストを行って適合を設定しております。適合車種以外への取り付けは行わないで下さい。
3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 精密部品の為、開梱および取り付け時は落下させる等強い衝撃を与えない様注意して下さい。

## ⚠ 警告

- ・交換作業は車両が十分に冷えた状態で行って下さい。走行直後はトランスミッションを含め、駆動系部品が非常に高温になっており触れると火傷の危険があります。
- ・車両を持ち上げる際は車両毎の指定位置でジャッキアップまたはリフトアップし、ジャッキアップ後は必ずリジトラックを使用し、短時間でもジャッキのみの作業は絶対に行わないで下さい。
- ・交換作業の際は必ず保護手袋を着用して下さい。クラッチディスクの摩擦材に含まれる成分により怪我を負う危険があります。
- ・交換作業の際はマスクを着用することをお勧めします。クラッチディスクからの摩耗粉の飛散により、体内へ侵入するおそれがあります。十分な注意を払って作業を行って下さい。  
(本製品はノンアスベスト材をしております)
- ・取り付けの際はフライホイール、クラッチディスクおよびクラッチカバーの摺動面に油脂類等が付着しない様にして下さい。クラッチ性能を著しく低下させ大変危険です。油脂類が付着した場合には必ずブレーキクリーナー等で洗浄して下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

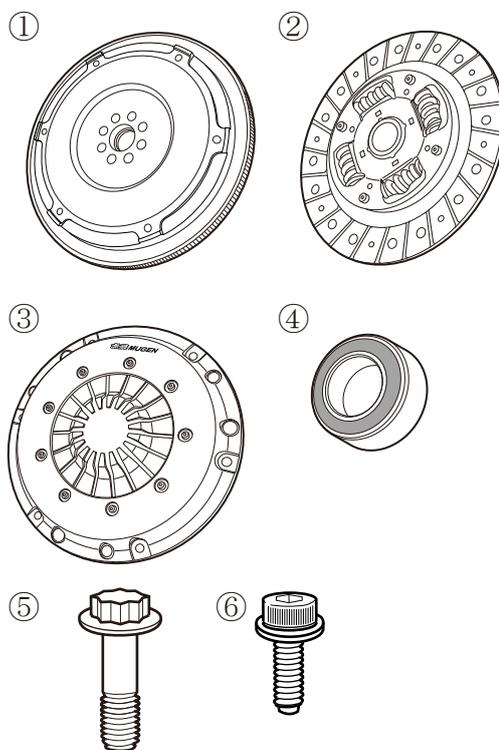
株式会社 M-TEC 商品事業部 国内販売課

【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	フライホイール	1
②	クラッチ ディスク	1
③	クラッチ カバー	1
④	パイロット ベ어링	1
⑤	ボルト (M12)	8
⑥	キャップボルト (M8)	6



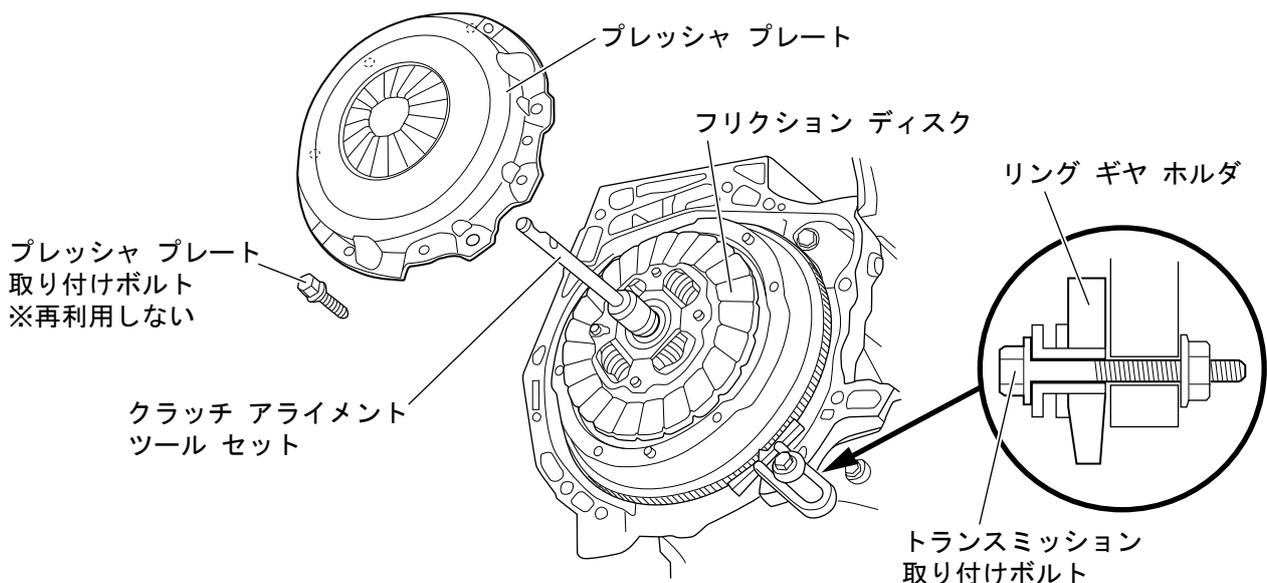
## 【必要工具】

- ・ベアリング ドライバ アタッチメント 37×40
- ・ドライバ ハンドル 15×135L
- ・リングギヤ ホルダ アタッチメント ・リングギヤ ホルダ
- ・ベアリング リムーバ シャフト ハンドル ・スライディング ハンマ ウェイト
- ・ベアリング リムーバ シャフト セット 20
- ・クラッチ アライメント ツール セット ・トルクレンチ
- ・12Pボックスレンチ 17mm
- ・ラチェットレンチ ・ヘキサゴンソケット 5番 ・ウエス ・グリス

## 【本製品の取り付け準備】

### ・プレッシャ プレート、フリクション ディスクの取り外し

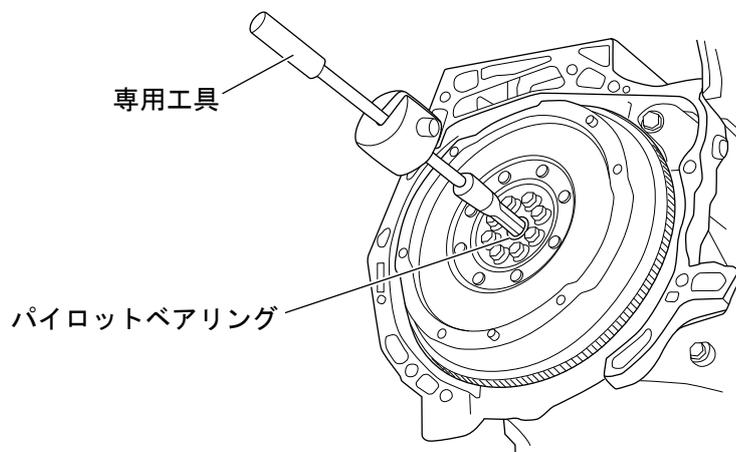
1. サービスマニュアルに従い、正しい位置でジャッキアップまたはリフトアップし、ジャッキアップの際はリジトラックを使用し、作業にあたって車両が安全な状態であることを確認する。
2. サービスマニュアルに従い、車体からトランスミッションを取り外す。
3. トランスミッション取り付けボルトを使用し、専用工具（リング ギヤ ホルダ、リングギヤホルダ アタッチメント、クラッチ アライメント ツール セット）を取り付ける。
4. プレッシャ プレート取り付けボルトを対角線に2～3回に分けて緩め、プレッシャ プレートを取り外す。  
※取り外したプレッシャー プレート取り付けボルトは再利用しません。



5. 専用工具を取り外し、フリクション ディスクを取り外す。

### ・パイロット ベアリングの取り外し

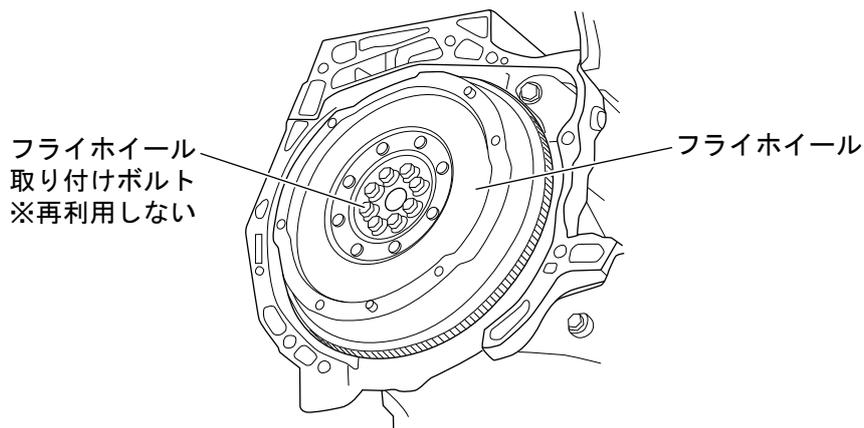
1. 専用工具（ベアリング リムーバ シャフトハンドル、スライディング ハンマ、ウェイト およびベアリング リムーバ シャフト セット20）を使用し、パイロットベアリングを取り外す。



2. 専用工具を取り外す。

・フライホイールの取り外し

1. フライホイール取り付けボルトを対角に2～3回に分けて緩め、フライホイールを取り外す。  
※取り外したフライホイール取り付けボルトは再利用しません。

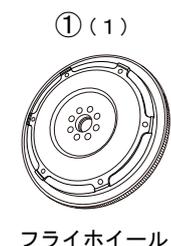


【本製品の取り付け準備】

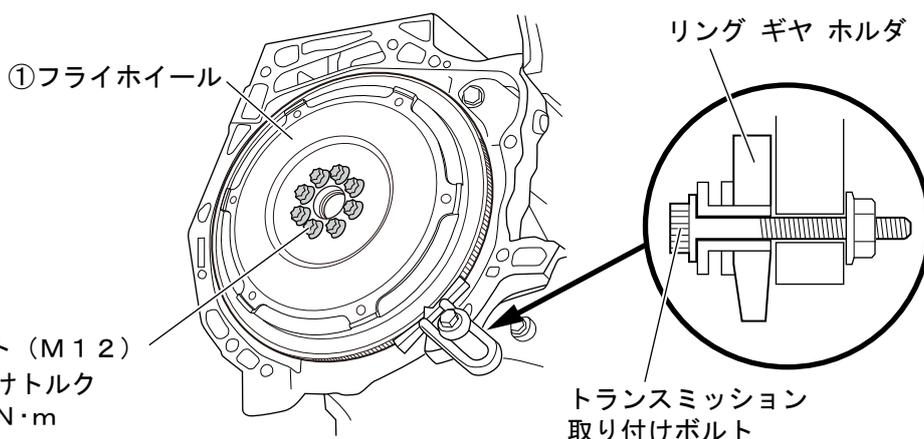
・無限フライホイールの取り付け

1. ①フライホイールを取り付け、⑤ボルト（M12）を対角に2～3回に分けて仮締めする。
2. 専用工具（リングギヤホルダ、リングギヤホルダアタッチメント）を取り付ける。
3. ⑤ボルト（M12）を対角に2～3回に分けて締め付ける。

【使用部品】



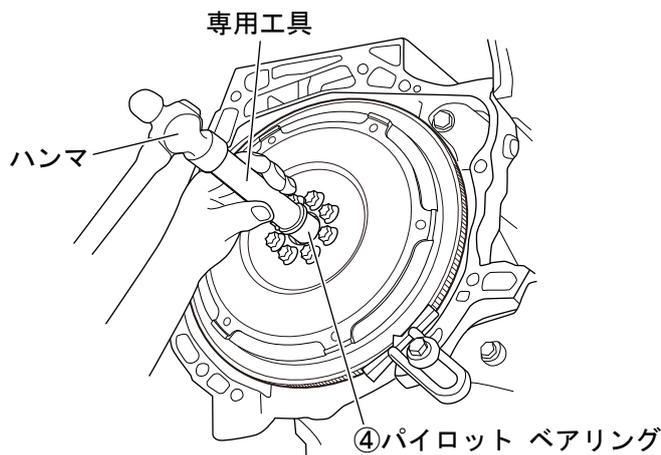
⑤ボルト (M12)  
締め付けトルク  
123 N・m



・パイロットベアリングの取り付け

1. 専用工具（ベアリングドライバアタッチメント37×40およびドライバハンドル15×135L）を使用し、④パイロットベアリングをフライホイール端面に突き当たるまで圧入する。

【使用部品】



・無限クラッチ ディスク、クラッチ カバーの取り付け

1. 下図を参照し、②クラッチ ディスクのスプライン部と①フライホイールのスプライン部にグリスを塗布する。

※はみ出したグリスは拭き取ること。

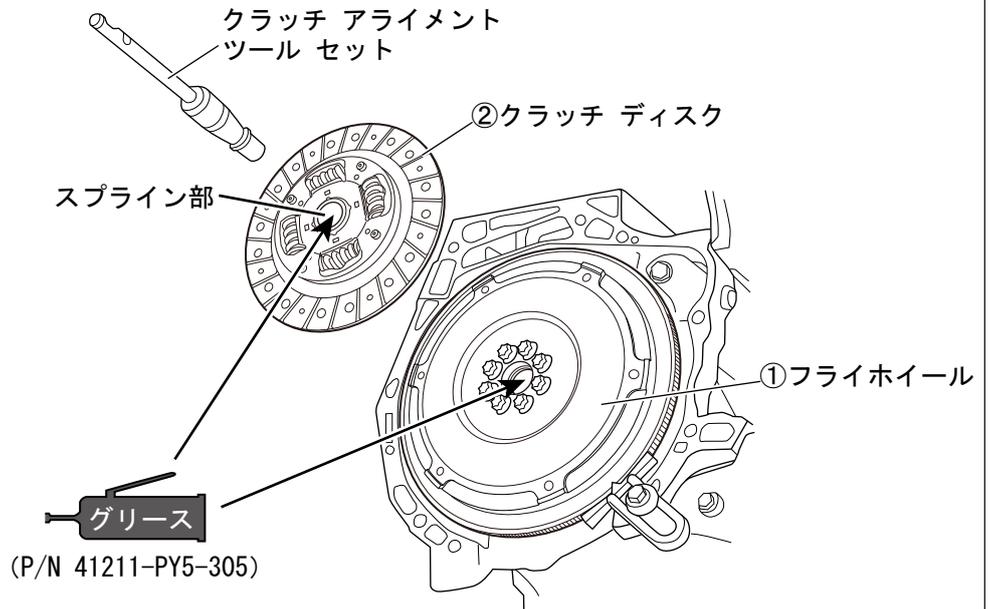
2. 専用工具（クラッチ アライメント ツール セット）を使用して②クラッチ ディスクを取り付ける。

[使用部品]

②(1)



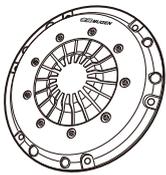
クラッチ ディスク



3. ③クラッチ カバーを取り付け、⑥キャップボルト（M8）で6ヶ所仮締めする。

[使用部品]

③(1)

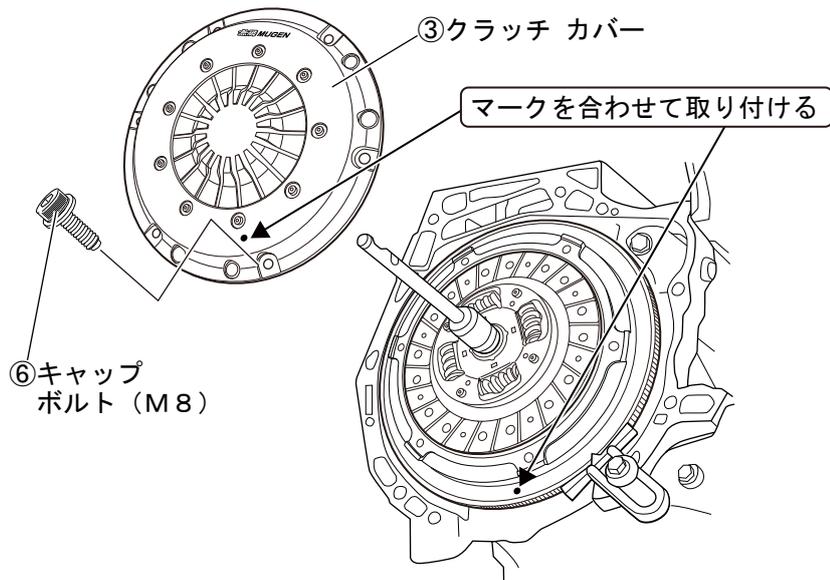


クラッチ カバー

⑥(6)

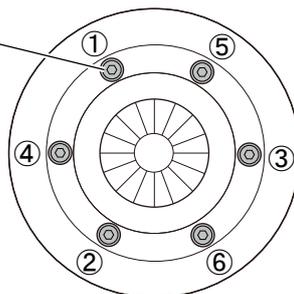


キャップボルト (M8)



4. ダイヤフラム スプリングの歪みを防ぐため、⑥キャップボルト（M8）を対角線に2～3回に分けて締め付ける。

⑥キャップボルト (M8)  
締め付けトルク  
30 N・m



5. 専用工具を取り外す。

・トランスミッションの取り付け

1. サービスマニュアルに従い、トランスミッションを復元する。
2. サービスマニュアルに従い、クラッチペダルのストロークおよび遊びを調整する。

注 意

サービスマニュアルを参照し、必要に応じてリリース ベアリング、リリース フォークを交換して下さい。